

事業所名

スリール

児童発達支援 支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

1 日

法人（事業所）理念		一人ひとりの個性を尊重し、運動を通じて心身の健やかな成長・自立を目指します。				
支援方針		利用者様の特性に合わせて個別や小集団での支援を行います。器械体操やトランポリン・跳び箱等の器具を用いた活動を中心に制作や様々なレクリエーションを交え、楽しみながら全身の感覚や運動能力、協調性・集中力の向上を目指します。集団活動を行う中で生活に必要なルールやマナーを習得したり、心豊かな人間性が育まれるよう利用者様の個性に沿った支援を毎日行います。				
営業時間		月曜～金曜 13時～17時 （長期休み 12時～18時）	土曜 9時～15時	送迎実施の有無	あり なし	
支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	基本的な生活スキルの獲得・向上を目指し、自分の持ち物の管理や確認が出来るように下足箱や簡易的なロッカーの設置をしています。ホワイトボードに活動やスケジュールの掲示、準備や片付けがしやすいように物の配置をラベリングして視覚的支援を行いながら、自立して行動できるように伝えていきます。活動ごとに整列、登所・退所時やおやつ前など基本的な挨拶がしっかりできるようサポートします。				
	運動・感覚	トランポリンを使用し身体から脳を刺激しながら基礎体力・体幹機能の向上、専門指導員とマット運動や跳び箱などの学校体育に準じた運動活動を行い、成功体験を重ねて興味・関心の幅を広げたり、苦手意識や不安軽減を図る活動を行います。身体を動かすだけではなく製作や様々なレクリエーションなどを行い微細運動機能向上を目指した支援を行います。				
	認知・行動	ホワイトボードに文字・イラストで活動やタイムスケジュールを掲示する等、視覚的支援を行いながら見通しを持って行動が出来る様に全体での説明と個別での説明を適宜使い分けています。感覚過敏なお子様やクールダウンが必要な場合の対応として、個室で場面転換が出来る環境を用意しています。				
	言語コミュニケーション	利用者同士の関わりを見守ることを基本とし、必要に応じて職員が介入して代弁しながら状況の整理・適切な言葉の選び方や伝え方等を繰り返し教えています。また、チームで行う活動を取り入れて他者の頑張りを応援したり、認め合うことでコミュニケーション能力の向上を目指します。				
	人間関係社会性	集団活動の中で順番待ちやルールの理解、協調性の獲得を目指します。自由遊びでは健全なコミュニティ形成ができるよう見守り、職員が介入しながらスムーズに関係形成・社会性の向上が図れるようにサポートします。活動にルールがあるものや他者との協力が必要なものを取り入れ、楽しみながら相手の気持ちに気づき共感するスキルを身につけられる支援を目指し、特性や状況に合わせて個人または小集団でSSTを行います。				
家族支援		送迎時や半年に1度行う面談の際に事業所での様子等をお伝えし、様々なお話しを行いながら、常に相談を行える体制を取っています。	移行支援		必要に応じて幼稚園・保育園の先生と送迎時や別日でお話しをしながら情報共有を行い、今後や就学について考えていくようにしています。	
地域支援・地域連携		お子様の利用されている他の発達支援事業所などと、必要に応じて情報共有する場合があります。		職員の質の向上		外部の研修などに参加をして、その情報を同じ事業所の職員に伝えたりすることで新しい知識を学び合います。職員間同士で支援方針を確認しながら質の向上に取り組んでいます。
主な行事等		避難訓練（地震、津波、火災、水災害）を年2回実施。体力測定、発表会等				